

平等寺だより

『多欲の人は利を求むる事多きが故に

苦悩もまた多し』

丸子孝法



年頭にあたり皆様のご清福をご祈念申し上げます。昨年アメリカニューオリンズのハリケーンカ

トリーナ、パキスタン大地震と世界中未曾有の被害が出ました。私はすくなくらず地球の温暖化が原因して

編集発行
☎633-0001
桜井市三輪 38
三輪山平等寺
TEL/FAX
0744-42-6033
<http://www.geocities.jp/byoudouji/>

いると思うのですが、「米国の世論は現在の気温の上昇は地球の自然な温度の循環にすぎないと温暖化を否定している」との在米の国枝すみれ記者の報告がありました。いつの世も豊かさや便利さを求めない人はおりません。しかし、『多欲の人は利を求むる事多きが故に苦悩もまた多し』この釈尊のみ教えのとおり、人類は今もなお苦悩の道を歩み続けています。大自然のさけびに耳をかたむけ心を耕さねばなりません。今年もよろしくお願いいたします。

前護持会会長
岡本弘様へ



岡本弘様は信心篤く、禅の道に参じ、平等寺筆頭総代として生涯かけて平等寺の護持発展のためにおつくしになられ、正に壇信徒の鏡でありました。特に平等寺の復興、二重の塔釈迦堂の建立、護持会設立等に壇信徒の中心となって、渾身寺門の発展興隆におつくしになられました。その長年にわたり、住職の私ばかりでなく、山内寺族のすべてに対して、常にあたたかく、慈悲の心をもつて、ささえつづけて下さいましたことに、只々感謝申しあげるものであります。

想いかえせば、平成六年岡本総代を副団長に二十名インドの仏跡巡拝にいき、お釈迦さまの足跡を踏ませて頂けたこと、大本山永平寺のお授戒におつき頂いたこと、平等寺の行事に率先してご加担頂いたこと、すべてが忘れ得ぬよき思い出であります。淋しさの中に、まごころに生きるお手本を示された岡本総代の生きざまの中に私共は大切なものを学ばせて頂きました。心より感謝の合掌をささげ、ご冥福をお祈り申し上げます。岡本総代本当に有難うございました。



意一物中意尽蔵

桜井市の東都、三輪山の山裾を通るわが国最古の公道・山の辺の道沿いに曹洞宗・平等寺がある。聖徳太子の祈願で創建され、鎌倉時代に慶円上人が中興の偉業を成し遂げて、その規模は東西五百以、南北三百三十以の広い境内に本堂、護摩堂、御影堂など十二の坊舎と、九つの塔頭があった。室町、江戸時代まで大神神社を守る神宮寺として栄えたが明治初期の廃仏棄釈で衰退した。この寺が、いま、一住職の長年にわたる努力によって、見事に再興の一途をたどっている。その人は、丸子孝法住職。丸子住職が、これまで、寺の再興を目指した陰には、厳しく、涙ぐましい托鉢行脚の足跡が残されている。丸子住職は山形市出身。昭和四十年、先代住職に望まれて同寺に入門した。当時の寺は、明治の廃仏棄釈によって衰退し

たままの貧しい姿で、寺号も「翠松寺」と呼ばれていた。同四十六年十月、住職になったのを機会に荒れていた寺の再興を心に決めた。「托鉢をして、本堂を再建してほしい」という先代住職の遺言を守って、その日から、毎日、托鉢行脚に出た。二十四歳の若さだった。奈良、大阪の町を一軒ずつ訪ね歩き、寺再興の願いを訴えながら浄財を集めた。行脚は同六十二年まで、十六年間も続いた。一日平均八時間から十時間歩き、出会った人は延べ十万人、一億数千万円の喜捨があった。悲願がかない、いよいよその浄財を使つて寺再興に立ち上がった。同五十年十二月に山門と坐禅堂を完成させたのをきつかけに、同五十二年六月四日百年ぶりに「平等寺」と寺名を復活させた。同五十七年七月には、寺の中心となる本堂と鐘楼を再建した。本堂は、木造かわらぶき約二百平方以、

奈良時代の建築様式、大屋根には鴟尾が輝いていた。そして、六十二年六月、寺務所も完成した。同じころ、かつて同寺の脇寺、「大御輪寺」の本尊で、聖林寺にまつられている国宝・十一面観音立像を、そっくり模して複製して、再建成つた、本堂に安置。同年七月一日、本堂、寺務所などの諸堂の落慶法要と、複製した十一面観音立像の開眼法要を行った。丸子住職のこうした、たゆまぬ努力に、檀信徒らも強く心を打たれ、平成三年八月に高さ二以、青銅製の聖徳太子立像を寄進・建立した。太子像は山門くぐると、すぐ右手に立ち、参詣者を静かに見守っている。



寺務所のそばには、池田栄三郎・元桜井市長故人が丸子住職を讃えて詠ん

だ「青嵐や無一物中無尽蔵」という句碑が立っている。不退転の決意を持つてゼロから出発し、寺の再興に尽くした住職の気迫に感動し、禅の言葉を詠み込んだ句だ。

（あざみ第十六号 稲田敏雄筆より抜粋）

住職の法話

「みんなちがつて みんないい」

「ぜひ、お読み願いたい新刊に出会いましたので、お届けいたします。」と山口県のあるお寺の住職さんから一冊の本が送られてきました。

『みずずさんへの手紙』という本でした。明治三十六年に山口県の長門市に生まれて、二十六歳の若さで世を去つた、童謡詩人・金子みずずの事を私は初めて知りました。その本の中に「私と小鳥とすず」という素晴らしい詩がありました。

「わたしが両手をひろげて、お空をちつともとべない」と、お空をちつともとべないがとべる小鳥はわたしのように地面（じべた）をはやくは走れない。わたしがからだをゆすつても、きれいな音はでないけど、あの鳴るすずはわたしのようには、たくさんうたは知らないよ。すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがつてみんないい。八十年もまえにつくられたとは思えない、金子みずずのこの詩。とても新鮮で感激してしまいました。特に最後の部分がいい。「すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがつて、みんないい。」何度も読み返していくなかに、大きな発見をしました。二千年五百年の昔、お釈迦さまは、この世の中のすべてのものが光り輝いている事を発見されました。そのことを金子みずずは、みごとに「みんなちがつて、みんないい」と表現したという発見です。泣きながら歩いているあなたも、つまずきながら歩いているあなたも、恋に輝いているあなたも、みんなちがつて、みんないい。

意財の七施

仏教に無財の七施という修行があります。雑宝蔵經に書かれた教えで、お金や物が無くとも、一人でも多くのの人に喜びを与えられる施しのことです。一気に身につけることは出来ないでひとつずつ実践していこうと考えています。

1、「眼施」無財の七施の最初の方法は「眼施」。目は多くを語ります。常に人に接する時に優しい目で施しなさいという教え。



2、「顔施」(げんせ)笑顔の施しです。気分がいいから笑顔になるだけでなく、相手を気遣うために優しいお顔で接し人を和ませる施しをなさい。そうすれば貴方の人相もかわり、人生も好転するとする教え。

3、「言施」慈悲を持って

優しい言葉で話す事。また、人の悪口や嘘を言わない、綺麗ごとばかり言わない、あちらこちらで適当なことを言わない。

4、「身施」自分以外の人や物の為になる事を積極的にやること。人に認められるためにやるのは身施ではない。

5、「心施」出来る限り思いやりのある心で接しなさい。人の苦しみも喜びも自分の苦しみや喜びとして受け止められる人になりなさい。

6、「床座施」(しょうざせ)人に席を譲りなさい。席を譲れない人は席を譲られたあの深い暖かさを知らないかも。

7、「房舎施」(ぼうしゃせ)自分の部屋を綺麗に掃除し、心地よくして皆に貸し与えなさい。人の場所はどこんどん使って汚しても平気。自分の場所は人に使わせたくない。だから人に使つてもらおうと自分のよそでの行為が見えてきます。

梅花講に入つて

後岡 繁子

私が六十歳の年をむかえたばかりの折でございました。方丈様からご詠歌の梅花講への入会のお誘いをいただきました。



ふと、里の母が時折にご詠歌をお唱え致しておりました。聞いてまいりますその音色と母のありし日の姿がかび、私も梅花講に入らせていただきました。皆様も年令を問わずぜひお入り頂き、ご詠歌のお諭しをよご体験なさって頂きますようにと念じております。

作務の日

毎年恒例の作務の日に、今年には六十名に及ぶ有志の方々が平等寺の隅々まで掃除して下さいました。また、一心講や日高産業の方達も、ご奉仕で一生懸命に掃除して下さいました。ありがとうございます。

三輪の市開かれる

三輪の市が、今年も五月三日と十一月三日に開かれます。境内にプロからアマチュアまで六十もの店舗が並びます。ぜひ一度おいでください。



在家得度式

昨年は戒名を頂く得度式を六名が受け、佛弟子としての誓いをたてました。随時受付しています。

永平寺参拝

毎年恒例の一泊二日本山研修会に辻本さんが夫婦で参加されました。皆様も御一緒にどうぞ。



研修道場報告

平等寺研修道場の空手道MAC奈良支部が、がんばりました。極真、白蓮、MACの大会にて優勝。花祭り、おんぱら祭、万葉祭りで演武会を行いました。
<http://www.karatado-mac.com/>

平等寺カイロ施術院

腰痛、肩痛の方、平等寺徒弟の道仁が安全で痛みのない方法で施術します。
☎090-1803-4473

護持会会長に就任して

佐藤 和彦



八月一日、平等寺護持会に於いて会長を仰せつかりました。

前会長岡本弘様が、病で入院加療中でしたが、六月にお亡くなりになりました。護持会発足以来、会長及び総代としてご活躍中でしたのに、寿命とは言え残念でなりません。只々御冥福をお祈りいたします。

急な事で、役員会及び総会で副会長の私が選出されました。会員皆様の御協力のもとに、平等寺と護持会の絆を深め先祖様の報恩の目的に微力を結集する所存ですので、皆様の御指導御鞭撻を賜りますようお願い致します。

合掌

護持会親睦旅行

芥井 伸夫

去る五月十日、春の行楽シーズンの良い日に護持会発足以来初めての、日帰り旅行(京都府亀岡の湯の花温泉)に参加させて頂きました。朝八時に集合場所の桜井駅北口より参加者三十七名が大型観光バスに乗り心弾ませて出発しました。バスの中ではそれぞれ、にぎやかに飲み物やお菓子を頂きながら和やかに話をしている内に、温泉につきました。私は、早速温泉に入り露天風呂の



方に行きました。少しぬるめのお湯だったので、景色を見ながら「やっぱり温泉はいいなあ」と思いながら入っていると、丸子住職も入ってこられました。しばらくは一緒にいましたが時間が来たので温泉を出ることにしました。広間へ行くと料理がたくさん並んでいました。住職の和やかな挨拶の後、皆さんと料理とお酒を頂きました。また、佐藤副会長様始め住職のカラオケも始まり楽しい一時を過ごさせて頂いておりましたが、時間のたつのは早く昼食時間も終わってしまいました。バスは一日の楽しい思い出とおみやげを乗せて一路桜井へ帰ることとなりました。第一回三輪山平等寺護持会親睦旅行も近くではありましたけれども三十名一日楽しく過ごさせて頂きました。また今後も機会があれば参加させて頂きたいと思えます。ありがとうございました。合掌

年間行事予定

- 【二月】一〜三日 修正会
九日 十二時 昼食
十三時 初護摩会
- 【二月】三日 十時 星祭会
十五日 七時 涅槃会
- 【三月】二十一日 十四時 彼岸会
- 【四月】二日 十時 大護摩会
(花祭り降誕会)
「ちこおねり」募集
- 【五月】三日 三輪の市
【七月】上旬 本山研修会
中旬 作務の日
下旬 子供坐禅の集い
- 【八月】一日 九時半 最勝会
平等寺護持会総会
- 【九月】二十三日 十三時 地藏会
【十月】下旬 梅花大会
【十一月】三日 三輪の市
【十二月】一〜八日 朝六時
摂心会並びに成道会上旬 歳末托鉢行
二十一日 十四時 終護摩会
三十一日 除夜の鐘



月間行事予定

- 一・十五日 六時 祝祷朝課
- 四〜二十九日 月仏参
- 十八日 十三時 梅花講
- 二十四日 十四時 水子供養
- 二十八日 十四時 護摩会
(一月は上記参照)
- 日曜日 六時半 坐禅会



まるが行く⑥

八月に白いチロが交通事故で亡くなったワン。悲しくて泣いていたら、また人間が真つ黒な猫を捨てていった。名前はチロ。私はチロのお母さんになって毎日一緒に寝てあげたり、遊んだり。お寺に来る人もかわいがつてくれるワン。



三輪山裏

昨年は平等寺に次男が生まれました。名前は「蓮人」我が子を思う親の気持ちで相手に接することができればケンカも戦争もなくなるはず・・・まずは履物を揃えます。合掌。

編集子 孝仁記